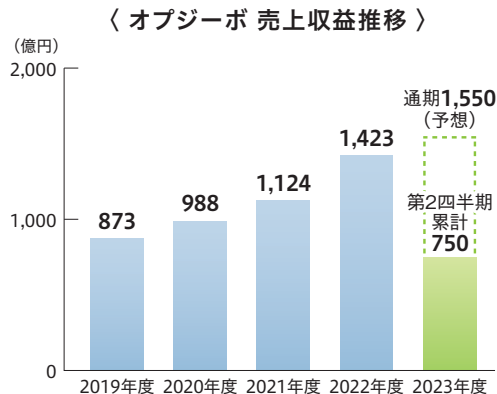


オプジーボの売上が引き続き拡大

抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、胃がん、食道がん、尿路上皮がん領域での使用が拡大し、当期の売上収益は前年同期比7.3%増の750億円となりました。通期でもさらなる成長を見込んでおります。

オプジーボは日本では、当社が2014年9月に「根治切除不能な悪性黒色腫」の治療薬として発売しました。現在、11がん腫で承認を得ていますが、さらなる適応がん腫の拡大を目指した開発に取り組んでいます。



国内で承認されたオプジーボの効果・効能 (2023年9月時点)

悪性黒色腫	切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫
<ul style="list-style-type: none"> ● 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 ● 非小細胞肺癌における術前補助療法 	がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) を有する結腸・直腸がん
根治切除不能又は転移性の腎細胞がん	<ul style="list-style-type: none"> ● 根治切除不能な進行・再発の食道がん ● 食道がんにおける術後補助療法
再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫	原発不明がん
再発又は遠隔転移を有する頭頸部がん	
治癒切除不能な進行・再発の胃がん	尿路上皮がんにおける術後補助療法



フォシーガなどが堅調に推移

糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォシーガ錠」は359億円（前年同期比36.1%増）となりました。

その他の主要製品においても、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」は50億円（同22.0%増）、パーキンソン病治療剤「オンジェンティス錠」は31億円（同27.9%増）となるなど、堅調に伸長しました。

主な製品の売上収益と予想

製品名	当第2四半期 売上収益(実績) (億円)	対前年同期 増減率	2022年度 売上収益(実績) (億円)	2023年度 売上収益(予想) (億円)	対前期 増減率
フォシーガ錠	359	36.1%	565	700	23.8%
オレンシア皮下注	130	4.5%	248	255	3.0%
グラクティブ錠	108	△7.5%	225	210	△6.7%
ベレキシブル錠	50	22.0%	85	95	11.3%
カイクロリス点滴静注用	46	3.9%	87	85	△2.3%
パーサビブ静注透析用	41	△2.9%	84	80	△4.8%
オンジェンティス錠	31	27.9%	50	65	30.5%
オノアクト点滴静注用	21	△3.5%	45	45	0.4%
ピラフトビカプセル	17	5.5%	32	40	23.2%
メクトビ錠	13	4.1%	25	30	18.1%